

令和元年度 学校評価

アンケート回答選択肢：よく当てはまる＝4点、 ほぼ当てはまる＝3点、
あまり当てはまらない＝1点、 当てはまらない＝0点

評価の点数について、素点平均＝4～0の評価の平均値（4点満点）
達成率＝素点平均×100／4（100%表示）

達成率	評価
80%以上 100%以下	A
60%以上 80%未満	B
40%以上 60%未満	C
20%以上 40%未満	D
0%以上 20%未満	E

1 職員による自己評価

領域		評価の観点	実践目標	達成率	評価	成果・課題・改善策
	1	開かれた学校づくり	学校は、学年通信や「保健だより」「みみだより」などを発行することで保護者・子どもたち・地域の方々などへの適切な情報発信ができています。	89	A	・毎月はじめに学部だよりや学年（学級）通信、「みみだより」などを発行し、情報発信ができています。 ・ホームページの内容を学部で精選し、計画的にアップしている。
	2		学校は日頃から育友会との連携をとり、学校の教育活動の理解を促すよう努めている。	83	A	
	3		学校のホームページは適切で興味ある内容になっている。	80	A	
	4		学校は教育相談・通級・研修会の講師派遣等、地域のセンター的機能を果たしている。	87	A	
	5	進路指導 キャリア教育	学校は卒業後の社会参加や自立に必要な力を身につけるため、幼児から発達段階に応じた進路学習（自立に向けた学習）を行っている。	78	B	・学部ごとの発達段階に合わせ、教科学習や就労体験を計画し実施している。 ・個別の教育支援計画は担任団、部長、総合支援センターと内容を確認しながら作成している。
	6		個別の教育支援計画は、担任と保護者の話し合いで子どもたち一人一人の目標に基づいてつくられている。	77	B	
	7	教職員の 資質向上	学校は研究授業や公開授業、研修会などを計画的に実施し、指導力の向上に努めている。	85	A	・外部と連携した研修や校内研究の内容を充実させ、専門性を高める。 ・必要性のあるIT機器については、計画的に拡充していく。 ・授業でのIT機器の活用法について研究授業を実施した。 ・子どもたちの人権に配慮した指導を徹底する。
	8		学校は聴覚障害の専門性について職員相互で高め合おうとする雰囲気がある。	73	B	
	9		学校ではコンピュータやIT機器が充実し、授業や校務での活用の幅が広がっている。	80	B	
	10		学校では、教職員が高い人権意識を持って、幼児・児童・生徒と接している。	72	B	
	11	危機管理 体制の整備	学校は子どもたちが安全に過ごせる環境を作り、事故を防止するための適切な配慮を行っている。	79	B	・訓練や研修を計画的に実施しているが、実際の非常時に対応できるように職員の意識向上を目指す。 ・学部長会を通じて、子どもについての情報共有をさらに充実させる。
	12		学校は危機対応力がある。（個人情報管理、不審者対応など）	74	B	
	13		学校は子どもたちの問題に組織的に取り組める体制が確立している。	72	B	
	14	関係諸機関との連携	学校は医療、福祉、教育、労働等の諸機関と連携する機会を持ち、子どもたちや保護者への支援に活かしている。	80	B	・総合支援センターや進路指導部を中心に、充実した取り組みができています。
	15	学部・学年運営	学校では保・幼・小・中・高の学部間の連携や、校務分掌部間の連携ができています。	54	C	・学部間、分掌間の連携のため、各部から意見を募った。各部からの提案を参考に、今後継続的に取り組んでいく。
	16	教育相談	学校はいじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合に迅速かつ適切に対応している。	80	B	・担任や学部は児童生徒、保護者からの相談に対して、真摯に対応できている。 ・相談のほかにも定期的にたよりを発行し、情報発信に努めている。 ・就学については、教育支援委員会を中心に各部署が連携し、該当の幼児児童生徒について共通理解をするなど、組織的に対応する。
	17		学校は子どもや保護者の進路や学習の悩みに対して個人面談などを行い、適切な指導をしている。	84	A	
	18		学校は補聴器・人工内耳の装用、また言語発達や就学に関する相談に対して個に応じた適切なアドバイスができています。	81	A	
	19		学校は幼児・児童・生徒の教育支援（就学指導を含む）において、情報を共有し組織的かつ適切な対応ができています。	75	B	
	20	合理的配慮	学校では、幼児・児童・生徒に対して合理的配慮が提供できている。	78	B	・個別の教育支援計画や個別の指導計画にその子どもの合理的配慮について記述し、次年度への引き継ぎを確実にする。
	21	校務処理	学校では勤務時間の適正化が図られている。	53	C	・会議の、時間の長さや回数を見直す。 ・業務、行事等を精選する。 ・より適正な人員の配置、勤務体系のあり方を考えていく。 ・校内グループウェア閲覧と活用の定着を目指す。
	22		学校では校務の合理化が図られている。	54	C	
教育課程	23	個に応じた学習指導	学校は個別の指導計画を基に、子どもの障害に配慮した教育活動を行っている。	77	B	・一人ひとりに応じた教科指導がされているが、さらなる基礎学力の定着のため、保護者の協力をもとに家庭学習の充実を進める。
	24		学校は子どもたちが主体的に学習に取り組む場面を設定し学びを深めるような授業を行っている。	77	B	
	25	特別活動・行事	学校は子どもたちが主体となる行事やイベント活動の充実に努めている。	83	A	・学校行事や各学部学年の行事では、子どもたちが主体的に活動できるよう、配慮している。
課題教育	26	防災・安全	学校はより具体的な災害状況を想定した実践的な防災訓練をしている。	77	B	・消防署と連携した防災訓練が実施できている。 ・警察や民間企業などと連携して、発達段階に対応した交通安全教室を実施している。 ・「総合的な学習」や道徳、ならびに教育活動全体を通して、自他を大切にする心を育む教育を行っている。
	27	教育	学校は交通事故防止などの安全教育を行っている。	73	B	
	28	人権教育	学校は生命を大切にし、人権を尊重した教育を行っている。	79	B	
	29	食育	学校給食を通して食生活や食事のマナーなど望ましい食習慣の指導を行っている。	84	A	
平均値				77	B	

2 中学部・高等部の生徒による評価

	設 問	達成率	評価
1	予習・復習などの学習習慣が身についている。	72	B
2	宿題や課題をきちんとやって、期日までに提出している。	74	B
3	授業中は、先生の話をよく聞いている（見ている）。	85	A
4	授業の内容は、よく理解できる。	82	A
5	先生の話（手話）は、よくわかる。	84	A
6	中間考査や期末考査の前には、計画を立てて一生懸命勉強している。	74	B
7	学校や学部のみまりをきちんと守って、生活している。	81	A
8	携帯やスマートフォンは、ルールを守って使っている。	82	A
9	交通ルールや電車やバスの中でのマナーを守っている。	93	A
10	掃除の時間は、まじめに取り組んでいる。	85	A
11	学校の備品や施設を大切に使っている。	89	A
12	自分から積極的にあいさつをしている。	86	A
13	先生や先輩とは敬語を使って話をしている。	70	B
14	いじめの問題が起きないように、みんなと仲良く行動している。	89	A
15	日番や週番など、当番の仕事を怠けずにきちんとやっている。	77	B
16	部活動に熱心に取り組んでいる。	82	A
17	文化祭や体育大会などの行事に、まわりと協力して取り組んでいる。	90	A
18	防災の学習や、講演会（携帯、性教育など）によって、自分の生活を見直したり考え方を変えたりしたことがある。	71	B
19	進路の講演会や卒業生のお話を聞き、自分の進路を考える上で参考になった。	71	B
20	悩んだり困ったりした時に、相談できる友だちや先生がいる。	83	A
21	勉強のことや友だちのことについて家の人と話をする。	76	B
22	この学校に入ってよかったと思っている。	85	B
平均値		81	A

3 保護者による評価

	設 問	達成率	評価
1	お子様は学校に行くのを楽しみにしている。	84	A
2	学校は、学校・学部・学年の目標や方針がわかるように提示している。	78	B
3	学校はホームページや配布物などで適切に情報発信をしている。	80	A
4	授業・保育は楽しくよくわかるように工夫されている。	84	A
5	学校は、お子様の成長の様子や課題などをわかりやすく伝えている。	82	A
6	学校は、学んだことを家庭で取り組めるような支援ができています。	94	A
7	お子様は学校生活の様子を家庭でよく話題にする。	62	B
8	宿題はお子様にとって適切な量である。	67	B
9	お子様は家庭でよく勉強している。	51	C
10	学校は部活動などの課外活動に積極的に取り組んでいる。	72	B
11	学校は挨拶やルールを守る指導をしている。	88	A
12	学校は本人や保護者の願いや思いをきちんと受け止めている。	78	B
13	学校は防災や不審者侵入などの安全対策を実施している。	68	B
14	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	78	B
15	お子様は学校行事を楽しみにしている。（または、「親子とも楽しめる保育や行事を企画・運営している。」）	91	A
16	学校は進路（進級を含む）に関する情報提供を適切に行っている。	74	B
17	学校は家庭・地域・医療との連携・協力が図れている。	73	B
18	お子様を本校に入学させて良かったと思う。	82	A
平均値		77	B

3 学校評議員による評価

	設 問	達成率	評価	成果・課題・改善策
1	本校の教育は保護者や社会の期待に応えている。	82	A	・家庭学習の充実度に関して、児童生徒と保護者の間で意識の違いがあることについては、個別に踏み込んで把握する必要がある、とのご指摘・ご助言をいただき、今後個別の面談の充実に努めていく。 ・学部間、校務分掌間の連携がなかなかできにくい点については、ここ数年の課題でもある。コミュニケーションをこれまで以上に密にとるため、連絡会を増やすこと、そして情報共有の徹底に努める。同時に、互いの立場への理解を深めるなど、職員一人ひとりの意識を高めていくことで解消する方向を目指していく。そのため、現在実施している学部間の交流行事などをさらに充実させていく。
2	本校では、聴覚支援学校としての専門性が十分に発揮されている。	82	A	
3	本校は「生きる力」を育む教育の推進を行っている。	75	B	
4	本校では、幼児児童生徒の健康や安全に対する指導が適切に行われている。	86	A	
5	本校の施設は、教育活動を進める上で十分に整備されている。	64	B	
	平均値	78	B	